

夜間景観の課題

実態調査により、鉛直面の明るさが不足していること等から危険を感じるほど暗いところが多いという共通した問題点に加え、「平和」「歴史・文化」「水と緑」「にぎわい・おもてなし」という本市特有の景観特性が生かされていないという問題点が抽出された。

このことを踏まえ、基本的なあかりの8原則に沿った取組を進める中でも個性ある広島らしい魅力ある夜間景観を形成していくため、現行の景観計画と同様、これら4つの観点から本市の夜間景観の課題を整理することとする。

1 平和

原爆ドームや平和記念公園、平和大通りなどの平和都市広島を象徴する景観づくりとして、夜間においても昼間と同様に市民や国内外から広島を訪れる人々が平和を祈り、平和を考え、安らぎ、くつろぐことができる環境を整えていく必要がある。

夜間においても安心して散策できるよう、安心をつくり出すあかりを確保するとともに、慰霊と鎮魂の場としてふさわしい厳かな雰囲気創出が求められる。

2 歴史・文化

広島城や市内各地に存する神社・仏閣、歴史的な街並みなどの地域の歴史・文化資源について、ライトアップ等により夜間も魅力的に演出するなど、さらにその価値を高めながら次世代に継承していく必要がある。

夜間においても安心して歴史・文化資源を鑑賞できる環境の整備や各スポットをつなぎ、次世代に引き継ぐ趣のある雰囲気創出が求められる。

3 水と緑

復興の過程で整備された緑豊かな河岸緑地をはじめ、魅力的な河川空間については、夜間においても憩い、佇み、活動することができる居心地の良い空間にするとともに、水面に写る優美な水辺夜景を創出するための照明整備や照明演出が求められる。

また、田園地域ならではの自然景観を生かした夜景づくりや島しょ部における海岸線を夜も感じることができる景観演出など、広島の自然を生かした、潤いと安らぎを感じる美しいあかりによる夜間景観を形成に取り組む必要がある。

4 にぎわい・おもてなし

華やかでありながら洗練された都会らしい夜間景観を形成するためには、建築物の漏れ光や壁面の演出照明、屋外広告物照明を整える必要がある。

夜間においても安心して憩い、楽しみ、快適に過ごすことができるあかりの空間を創造することにより、にぎわいの中にもおもてなしの心を感じる雰囲気を創出するとともに、夜間においても歩いて楽しめるまちの実現が求められる。

なお、上記の景観特性に関する課題に加え、景観照明の活用にあたっては、周辺的生活環境や自然環境への配慮、省エネルギーなどの地球環境への配慮が必要である。